

行政評価シート(事後評価)

コード 3-1-4	事務事業名 災害時の緊急物資確保対策	所管部課 危機管理室
--------------	-----------------------	---------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	災害時において、火災や建物倒壊等により住宅を失った市民の方が避難所で一時的に生活するために食糧・生活用品・医薬品等を備蓄する必要があるため、それらの備蓄品を保管する防災備蓄倉庫を計画的に配置していく。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等	
	備蓄倉庫の設置場所を確保し、防災備蓄倉庫を計画的に配置していく。	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			29,229	28,401	28,327
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	内: その他 ()				7,000	5,000
財源	一般財源		29,229	28,401	21,327	23,338
所要人員(B)	人		0.10	0.10	0.10	0.10
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		819	816	816	816
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		30,048	29,217	29,143	29,154
単位当たりコスト						
(E)=(D)/() 整備数	千円		7,512	7,304	7,286	9,718

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	整備数	実績値	箇所	4	4	4	3
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 1年間に整備した倉庫設置数							
	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一 全避難所への設置状況	目標値	箇所			41	
実績値		箇所			27		
二 次	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など)							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	他市においても、防災備蓄倉庫の計画的な配置を進めている。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	民間事業所、防災市民組織等による備蓄

コード 3-1-4	事務事業名 災害時の緊急物資確保対策	所管部課 危機管理室
--------------	-----------------------	---------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成20年3月に修正された地域防災計画においても、災害時の市民に対する計画的備蓄は重要項目とされていることから、各防災拠点に今後とも防災備蓄倉庫の設置を推進する。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>地域防災計画にしたがって計画的に防災備蓄倉庫を設置されたい。避難所への設置率の現状を踏まえ、民間施設における設置の促進や、緊急物資に何を優先して確保すべきかについて、十分に検証されたい。 なお、二次避難所への設置については、災害時における初動態勢の確保も含めて十分効果が発揮できるよう努められたい。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>避難所への備蓄倉庫設置については、民間避難所における確保方策の検討とあわせて進められた。また、倉庫に確保すべき緊急物資の水準等についても十分に検証されたい。 なお、二次避難所での倉庫設置、緊急物資確保に当たっては、災害時の初動態勢や、現在庁内で検討を進めている災害時の要援護者支援策を踏まえた配置の考え方を整理する必要がある。</p>